

「町田の教育に関するアンケート調査」の結果について

1 調査目的

市民（町田市在住の小・中学生、保護者、教員）を対象に、現状及びニーズを把握し、次期計画である『(仮称)町田市教育プラン 2024-2028』を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査方法

調査名	調査方法
【児童・生徒用】 町田の教育についてのアンケート	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：町田市立小中学校に在籍する小学校5年生、中学校2年生 ●調査方法：Web アンケート ●調査期間：2022年7月1日（金）～7月20日（水）
【保護者用】 町田の教育に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：町田市立小中学校に在籍する小学校5年生、中学校2年生の保護者※ ●調査方法：Web アンケート及び紙面による記入式アンケート調査の併用（学校配布・学校回収） ●調査期間：2022年7月1日（金）～7月20日（水）
【教員用】 町田の教育に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象：町田市立小中学校に勤める教員 ●調査方法：Web アンケート ●調査期間：2022年7月1日（金）～8月5日（金）

※保護者については、小学校5年生、中学校2年生の1学級を対象として、実施しています。

3 調査結果

調査名	調査結果		
【児童・生徒用】 町田の教育についてのアンケート	対象者数	有効回答数	有効回答率
	6,659人	3,307人	49.7%
【保護者用】 町田の教育に関するアンケート調査	対象者数	有効回答数	有効回答率
	2,034人	1,238人	60.9%
【教員用】 町田の教育に関するアンケート調査	対象者数	有効回答数	有効回答率
	1,701人	983人	57.8%

・回答結果（抜粋版）については、【別紙】参照

4 調査結果の公表

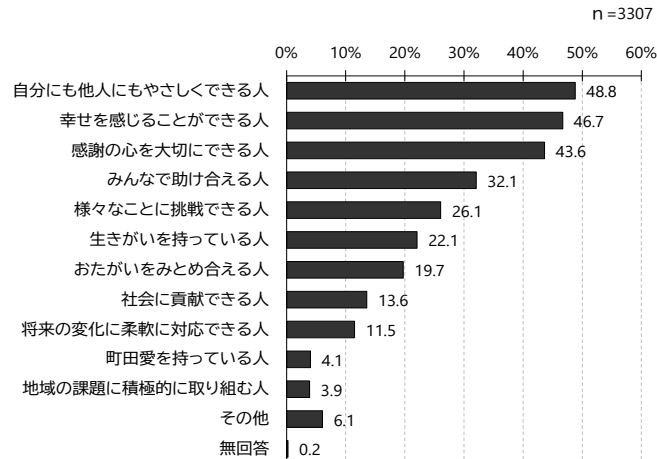
3月下旬に町田市ホームページで公表予定です。

回答結果（抜粋）

＜児童・生徒の質問項目＞

○あなたが将来こういう大人になりたいと思うものを選んでください。（複数回答）

「自分にも他人にもやさしくできる人」が 48.8%と最も多く、次いで「幸せを感じることができる人」が 46.7%、「感謝の心を大切にできる人」が 43.6%、「みんなで助け合える人」が 32.1%、「様々なことに挑戦できる人」が 26.1%となっています。



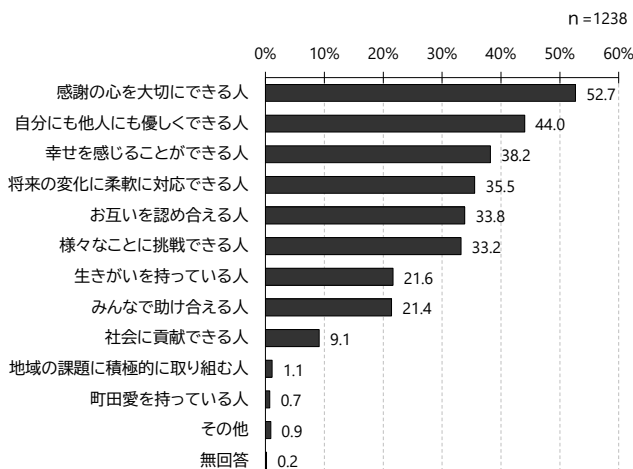
＜保護者・教員共通の質問項目＞

○あなたが子どもたちに、こういう人になってほしいと思うものを選んでください。（複数回答）

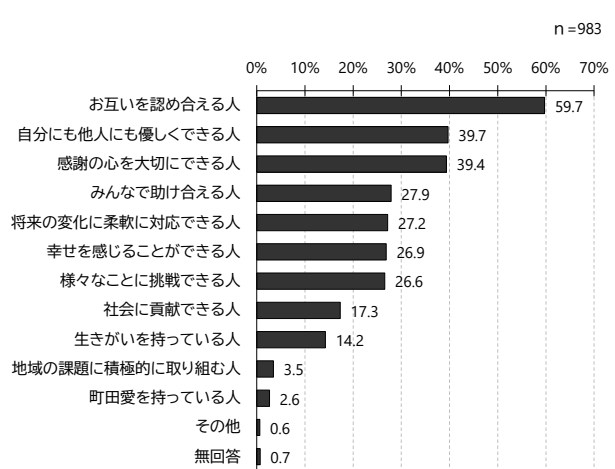
保護者アンケートでは、「感謝の心を大切にできる人」が 52.7%と最も多く、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が 44.0%、「幸せを感じることができる人」が 38.2%、「将来の変化に柔軟に対応できる人」が 35.5%、「お互いを認め合える人」が 33.8%となっています。

教員アンケートでは、「お互いを認め合える人」が 59.7%と最も多く、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が 39.7%、「感謝の心を大切にできる人」が 39.4%、「みんなで助け合える人」が 27.9%、「将来の変化に柔軟に対応できる人」が 27.2%となっています。

＜保護者＞



＜教員＞

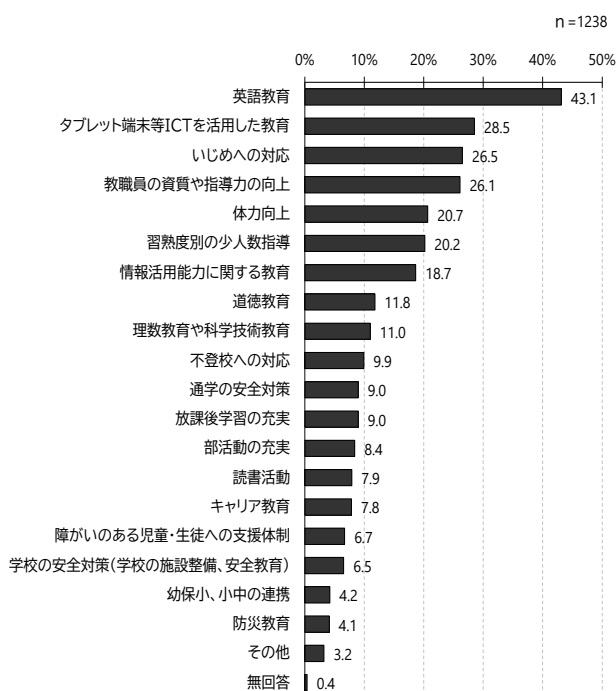


○町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。(複数回答)

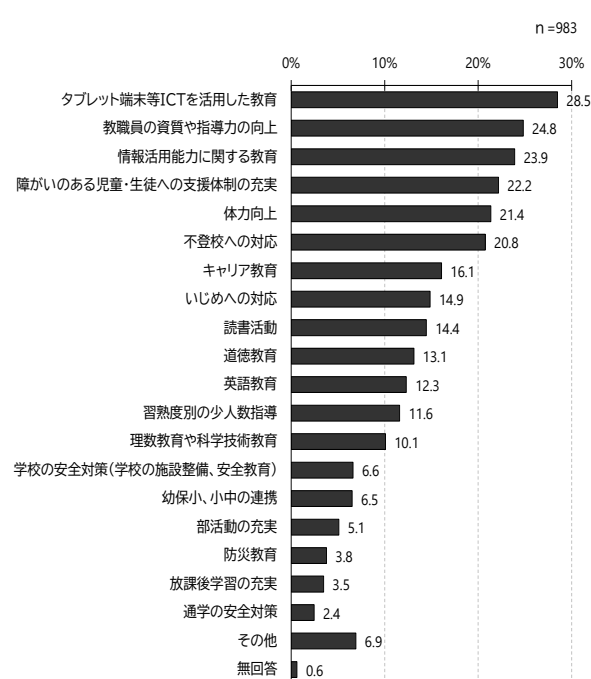
保護者アンケートでは、「英語教育」が43.1%と最も多く、次いで「タブレット端末等ICTを活用した教育」が28.5%、「いじめへの対応」が26.5%、「教職員の資質や指導力の向上」が26.1%、「体力向上」が20.7%となっています。

教員アンケートでは、「タブレット端末等ICTを活用した教育」が28.5%と最も多く、次いで「教職員の資質や指導力の向上」が24.8%、「情報活用能力に関する教育」が23.9%、「障がいのある児童・生徒への支援体制の充実」が22.2%、「体力向上」が21.4%となっています。

<保護者>

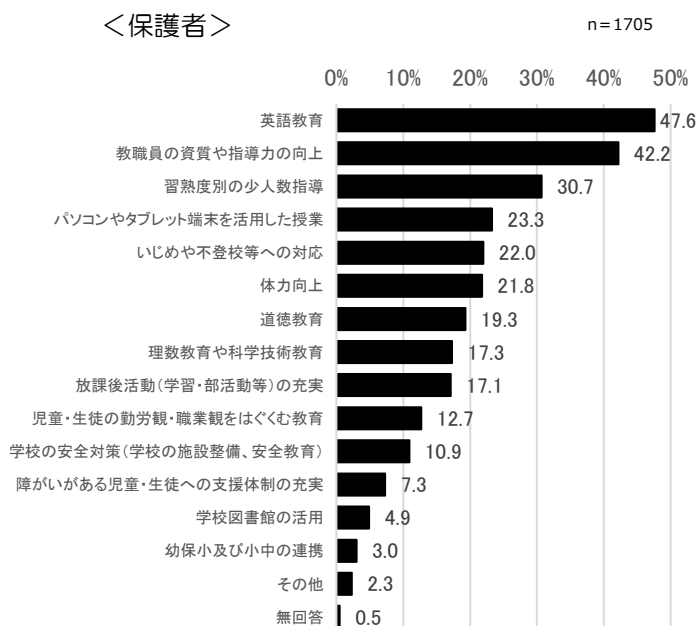


<教員>



(参考) 2017 年度調査時

<保護者>



<教員>

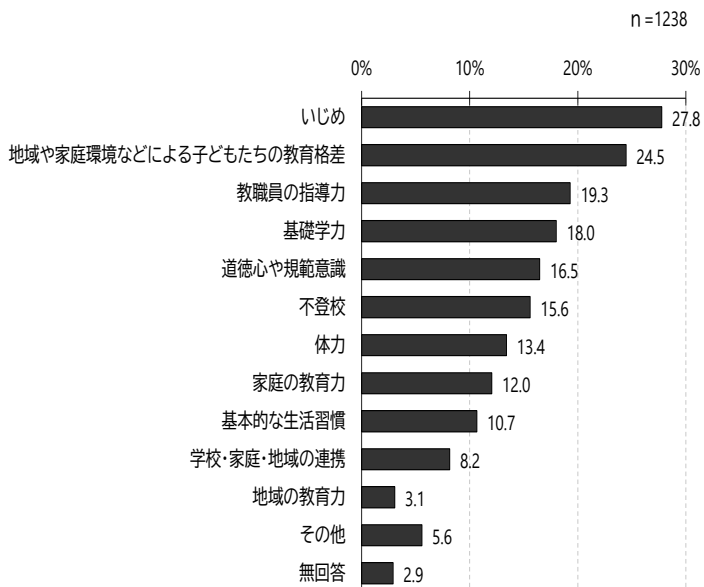


○子どもたちの教育や環境について、課題と感じていることは何ですか（複数回答）

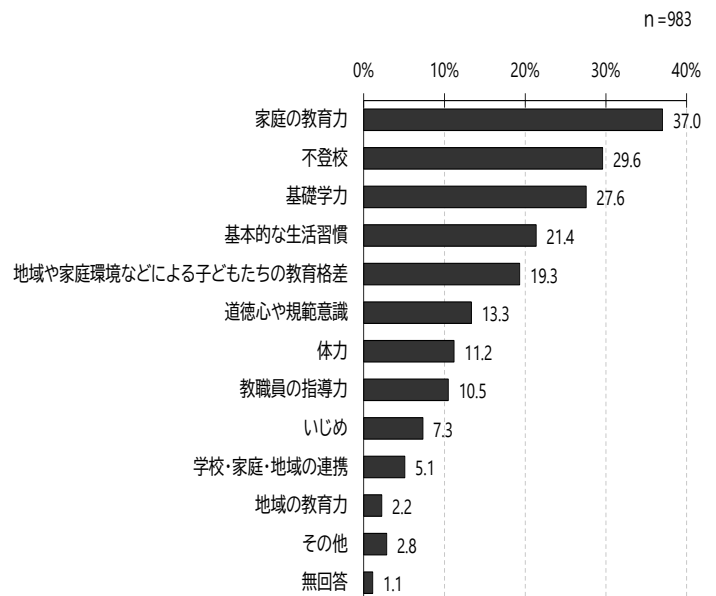
保護者アンケートでは、「いじめ」が27.8%と最も多く、次いで「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が24.5%、「教職員の指導力」が19.3%、「基礎学力」が18.0%、「道徳心や規範意識」が16.5%となっています。

教員アンケートでは、「家庭の教育力」が37.0%と最も多く、次いで「不登校」が29.6%、「基礎学力」が27.6%、「基本的な生活習慣」が21.4%、「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が19.3%となっています。

<保護者>

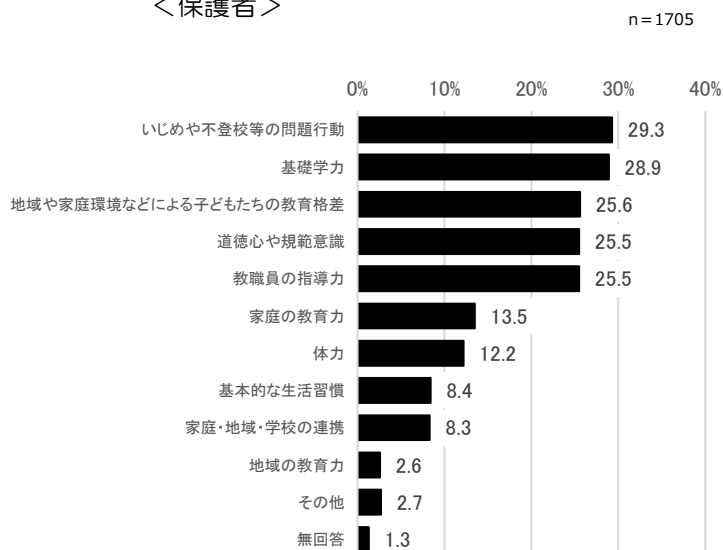


<教員>

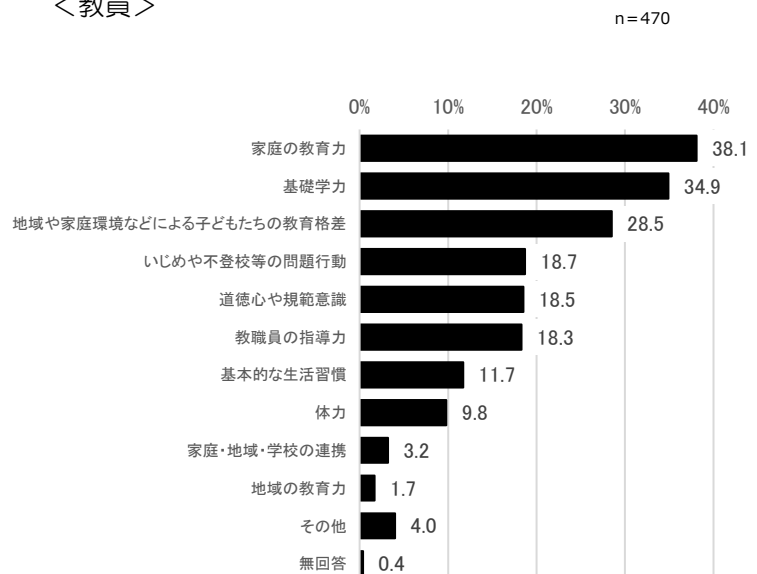


(参考) 2017 年度調査時

<保護者>



<教員>



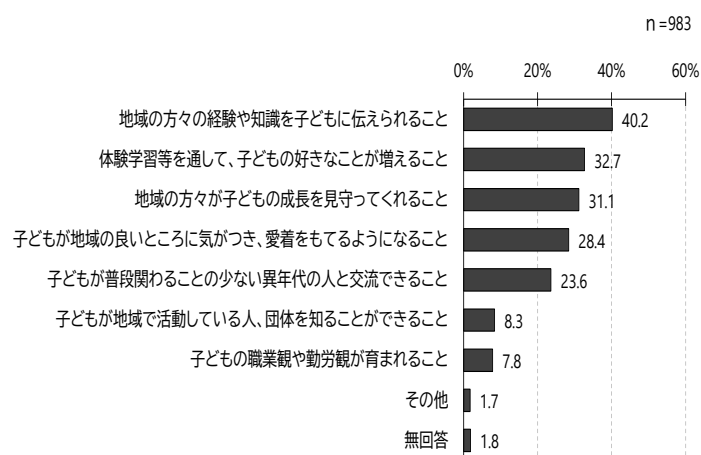
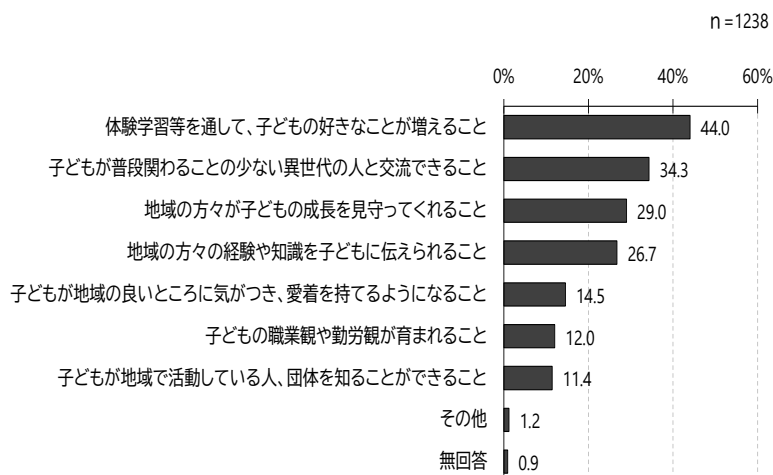
○地域の方々が学校の授業や運営に参画していただくことに期待することは何ですか（複数回答）

保護者アンケートでは、「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が44.0%と最も多く、次いで「子どもが普段関わることの少ない異世代の人と交流できること」が34.3%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が29.0%となっています。

教員アンケートでは、「地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること」が40.2%と最も多く、次いで「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が32.7%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が31.1%となっています。

<保護者>

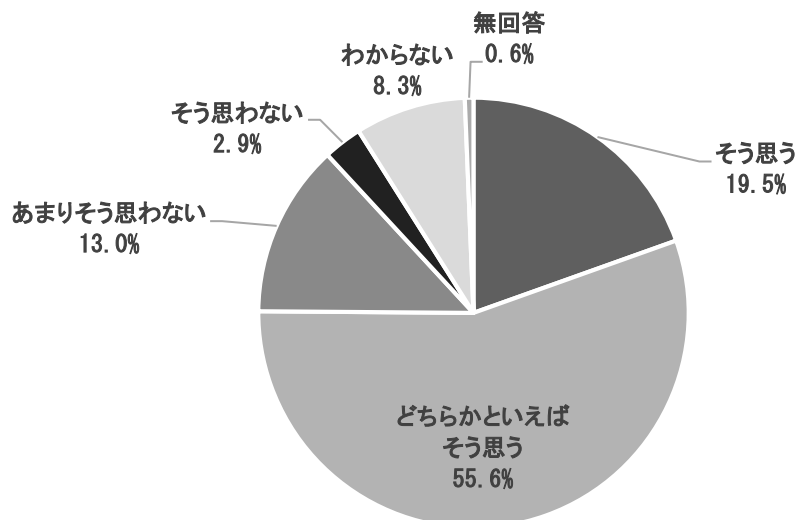
<教員>



<保護者の質問項目>

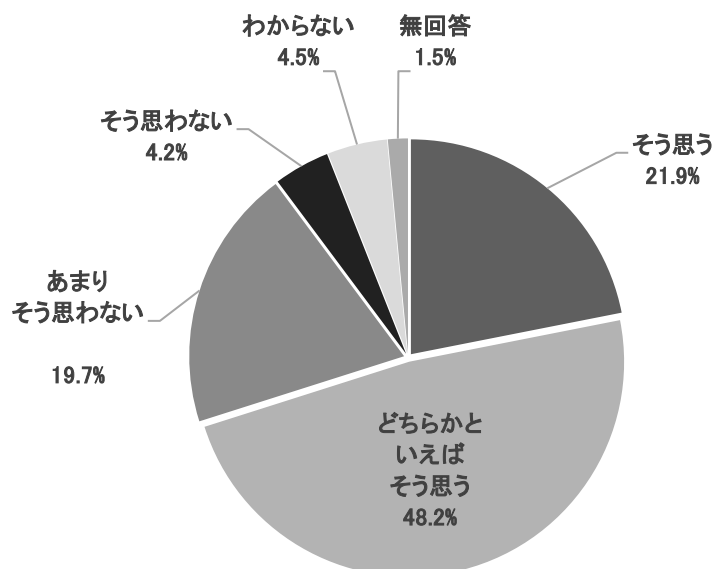
○学校は学校の情報を保護者や地域住民へ提供していると思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が55.6%と最も多く、次いで「そう思う」が19.5%、「あまりそう思わない」が13.0%、「わからない」が8.3%、「そう思わない」が2.9%となっています。



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計 75.1%
「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計 15.9%

(参考) 2017 年度調査時

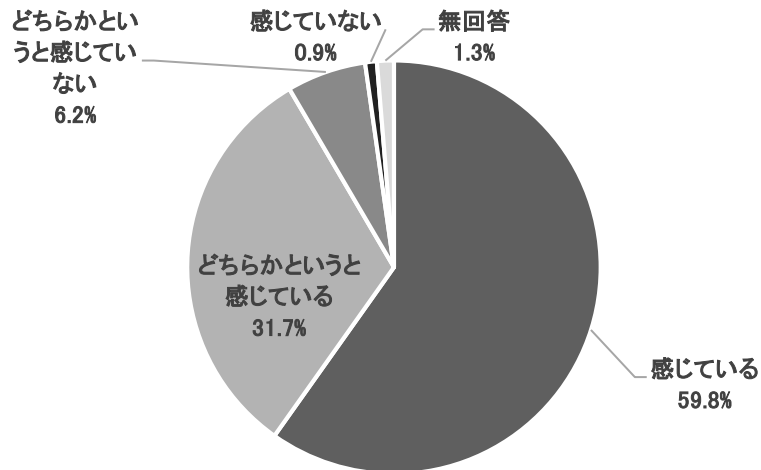


「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計 70.1%
「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計 23.9%

<教員の質問項目>

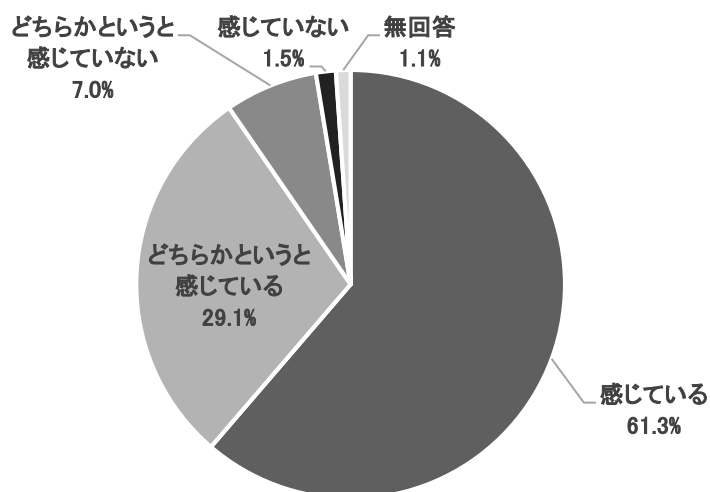
○あなたは自分の業務が忙しいと感じていますか。

「感じている」が59.8%と最も多く、次いで「どちらかというと感じている」が31.7%、「どちらかというと感じていない」が6.2%、「感じていない」が0.9%となっています。



「感じている」「どちらかというと感じている」の合計 91.5%
「どちらかというと感じている」「感じていない」の合計 7.1%

(参考) 2017 年度調査時



「感じている」「どちらかというと感じている」の合計 90.4%
「どちらかというと感じている」「感じていない」の合計 8.5%